

千代田中学校だより

自ら一步前へ

平成 30 年 7 月 4 日

第 11 号

一人ひとりが輝き

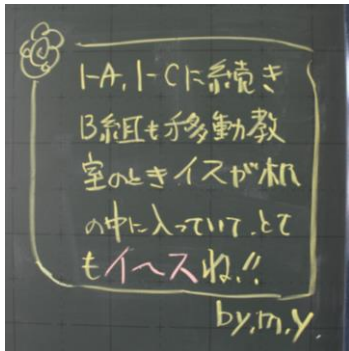
校長 山田正彦

笑顔と感動があふれる学校

こんな「しぐさ」が

校内を回っている時、いくつかの教室の黒板に、こんなメモ書きのをしました。「移動教室のときイスが机の中に入っ

ていてとてもイースね！」というメモ書きです。移動教室のとき、どの学年の教室もほとんどの生徒がイスを机の中にきちんと入れて移動しています。このメモ書きをした教室は、全員がきちんとイスを机の中に入れていた教室のみです。先日、県の教育委員会の先生方が来られた時にも、「生徒の皆さんが移動した後の教室が整っていて、素晴らしいですね」とほめていただきました。ちょっとしたことですが、そこに気を回せるひとはすごいと思います。しかも全員ができていることに感動に近いものを感じました。中には、イスから立ったらそうすることが習慣になっている人もいるのでしょうか。生徒指導規程には、そんな決まりごとは書いてはありませんが、そんなちょっとした「しぐさ」も大切にしてみませんか。そんなことができる人は、きっと社会人になった時にはかわいがられる人になるでしょう。つまり、信頼を寄せられる存在になるということです。初めは気にかける、意識するところからだと思いますが、そのことを重ねていくと、習慣になります。君の隣にいるクラスメイトのようにね。私が書いたこのメモ書きを、今でも黒板に残している学級があります。ちょっと嬉しくなってきました。



全て心の構えは同じ・・・

いやー！残念でしたね、ワールドカップ。後半途中までベルギーを相手に2-0で勝っていました。FIFA ランキング3位のチーム相手に、大健闘だと私は思いました。（ランキング1位のドイツは予選敗退でしたが）予選でのコロンビア戦に勝利した試合や、他の2試合もVTRで見ましたが、「なかなかうまいな」って感じながら見ていました。サッカーに詳しくない私が言うのもなんですが、走力やパス回し、相手との競り合いに負けないパワーやスキルなど、ランキングの差を感じませんでした。コロンビア戦を終えての選手のコメントに、「後半は前半よりボールを前で回せし、チームとしていいプレーができた」ということばがありました。団体戦の魅力であり怖さだと思います。11人の思いや考えなどいろんなものがつながれば、一人ひとりの動きが変わり、11人以上のパワーが出るということです。逆に、つながらなければ7人分、8人分のパワーしか出せないということですね。日本代表選手の皆さんに、あらためて「ご苦労様」と「感動をありがとう」と言いたいです。



そして、こんな見出しの記事を見つめました。『日本代表、ロッカールームを整理整頓 また世界が驚く「地球上で最も尊敬できる」』という記事です。

日本代表は2日、ベルギー代表に2-3で悔しい逆転負けを喫し、ロシアW杯の戦いを終えた。ただ90分間の奮闘もさることながら、サムライブルーは試合後の行動まで世界中のサッカーファンを虜にしている。 【7/3(火)配信ゲキサカより】

試合後の行動というのは、スタジアムに来てくれていたファンに感謝し、ベンチとロッカーをきれいにし、さらに、ロッカールームにロシア語で「ありがとう」とメモを残していたということです。記事には、カンペキに整理整頓されたロッカールームの写真が添えられていました。そんなことができるのも、日本チームの強さの要因なのかもしれませんね。本校の生徒玄関にも、同じような内容の掲示物がありますよね。サッカーだけでなく、全てにおいて自らを向上させるための心の構えは、共通しているのではないのでしょうか。

※今回の便りから、読みやすさのため縦割段組をやめ1ページ表示にしました。